

運用事例

出入禁止人物

安全なホスピタリティ

運用例



検知

人物の認識

駐車場に入る出入禁止となっている人物のナンバープレートを認識。警報は自動的に担当警備員の端末に直接送信され、コマンドセンターにも送信されます。



分析

人物を特定

周辺カメラが稼働、防犯チームが出入禁止人物の動きを監視。近くの警備員が配置されます。



通信

警備班出動

リアルタイム映像や情報は、建物の入り口を監視している警備員と共有され、個人をブロックして施設内への侵入を阻止します。また、警察にも直接通報され、支援を要請します。



対応

状況把握と報告

出入禁止の個人は施設に入ることができず、到着する前にリアルタイムの情報が警察と共有されます。事案のレポートは、関連情報を含めて安全に記録されます。

テクノロジー



検知

- コントロールルームソフトウェア（Avigilon Control Centerなど）
- ナンバープレート認識
- ワークフローマネジメントソフトウェア



分析

- 固定式ビデオセキュリティ
- コントロールルームソフトウェア



通信

- 無線通信：音声・マルチメディア
- WAVE PTX：マルチメディア共有とブロードバンド・プッシュ・トゥー・トーク（PTT）
- ディスパッチコンソール



対応

- LMR-LTE 相互接続
- 事案対応



*カメラ映像はイメージです。

モトローラ・ソリューションズ motorolasolutions.com/ja_jp

モトローラ、MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONSおよびモトローラのロゴマークはMotorola Trademark Holdings, LLC.の登録商標であり、そのライセンスに基づき使用しています。文中に記載されている他の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。© Motorola Solutions, Inc. 2022. All right reserved.